

新着情報

- 2017年度 2学期制を導入。
- 2019年度 創立70周年を迎える。
- 2020年度 WWL (ワールドワイドラーニング) コンソーシアム連携校に認定。WWLは、Society5.0の時代に向けてイノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校などと国内外の大学、企業、国際機関などが協働し、高校生へより高度な学びを提供する仕組みを構築するとともに、テーマと関連した高校生国際会議の開催等を目指しています。

入試結果

◆普通科普通コース

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	320名	64名	141名	2.20倍	256名	332名	1.30倍	—	—
2019年度	280名	56名	172名	3.07倍	224名	354名	1.58倍	—	—
2020年度	280名	56名	121名	2.16倍	224名	284名	1.27倍	—	—

◆普通科国際コミュニケーションコース

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	47名	2.35倍	20名	27名	1.35倍	—	—
2019年度	40名	20名	61名	3.05倍	20名	38名	1.90倍	—	—
2020年度	40名	20名	32名	1.60倍	20名	20名	1.00倍	—	—

2021年度募集要項

●普通科普通

◆選抜Ⅰ

- <募集定員> 56名(20%)
- <選抜方法> 調査書・面接+小論文

◆選抜Ⅱ

- <募集定員> 224名(80%)
- <傾斜配点> 数学・英語2倍
- <学力:調査書> ①ほぼ同等…168名(入学定員の60%)
②学:調=8:2…56名(入学定員の20%)以内 (検査点重視)
- <全員面接> —
- <実技検査> —

●普通科国際コミュニケーションコース

◆選抜Ⅰ

- <募集定員> 20名(50%)
- <選抜方法> 調査書・面接+英語による実技検査、面接時に英語による面接あり
- <実技> 70分・英語の聞き取りと資料(文章、グラフ、図表など)を読み取り表現する。
- <面接> 10分・集団面接(面接官2名・生徒4名)

◆選抜Ⅱ

- <募集定員> 20名(50%)
- <傾斜配点> —
- <学力:調査書> —
- <全員面接> —
- <実技検査> —

※国際コミュニケーションコースを第一志望にする場合、普通科普通コースを第二志望として出願できる。

学校情報

●生徒・教員数

- 生徒数 男子343名・女子659名 計1002名
- 高1 総人数321名(男子108名・女子213名)
普通科普通40名×7クラス(一部41名、2年は7クラス、3年は8クラス)
普通科国際コミュニケーションコース 40名×1クラス
教員数 男性44名 女性19名 非常勤講師21名 英語指導助手2名

●アクセス

- 交通
- ・市内電車 6号線江波方面行き「舟入川口町」下車徒歩5分
- ・広電バス 6号線江波方面行き「舟入川口町」下車徒歩5分

●沿革・教育方針・教育目標

- 1921年に広島市高等女学校として設立。その後、広島市立第一高等女学校・広島二葉高等学校を経て、1949年に広島舟入高等学校と改称した。昨年度創立70周年を迎えた伝統ある学校である。
- 校訓「おのれに徹して人のために生きよう」を教育活動の指針として、活動の主体としての自由と責任を自覚する人、人の多様性を受け止め、課題を見つけ、解決に取り組む人となる基礎を育成することを教育目標としている。そのために、①豊かな人間性と、高い志をもった知的な生徒を育成する学校、②確かな学力を保証し、希望進路を実現する学校、③国際感覚を持つ生徒を育成する学校、④安全で持続可能な教育活動を全体的にすすめる学校、⑤情報を発信し、地域や保護者と連携する開かれた学校、という5項目の教育活動を重点化している。

●環境・設備

- 広島市中区の閑静な住宅街に、西日本屈指の施設を誇る校舎がある。1998年、21世紀の教育に対応することができるよう、冷暖房完備、コンピュータとLL教室を統合したCALL教室などを有する校舎に改築した。
- 式典や部活動の発表、各種講演会などに利用される講堂、クラブ合宿などに利用される3階建のセミナーハウス「舟友館」、蔵書約45,000冊の図書館、メニュー豊富な食堂、少人数授業が行われるセミナールーム、国際交流等に使用される国際コミュニケーションホールなど、3年間の充実した高校生活を過ごすことができる設備を有している。

●学校生活・日課・部活動

- 2学期制・週5日制、50分授業
- 8時25分登校、8時30分からSHR、8時45分から授業が始まる。落ち着いた雰囲気の中で、授業に集中する生徒の姿が見られる。12時35分から13時20分まで昼休憩となり、教室や食堂で友人と和やかな時間を過ごす。午後の授業、清掃を終えると放課後の時間となる。生徒は、部活動や補習、個別指導などに取り組み、19時には完全下校となる。
- 6限授業の日と、7限授業の日がある。シラバス(年間授業計画)に基づき、多数の生徒が志望する難関大学や広島大学など国公立大学への出願・合格を目標に、質の高い授業を展開するとともに、生徒は高い目標を実現させるため努力している。

- 部活動が盛んであり、昨年度は陸上競技部・JRC部・美術部・書道部・箏曲部、軽音楽部が全国大会へ出場し、陸上競技部は全国大会で入賞を果たした。また、生徒会活動も活発に行われ、文化祭や体育祭はそのほとんどが生徒によって進められている。

●コース・授業

- 普通科(普通)では、生徒の多様な希望進路実現に対応可能な授業を展開。英語・数学・国語などでは、少人数分割授業を導入している。国立大学を中心に「行きたい」大学に出願する指導を行い、土曜ゼミ・補習授業・小論文個別指導等を計画的に実施している。最難関大学・学科である東京大学・京都大学・国公立大学医学科への進学を志望する生徒への積極的な指導を行っている。
 - 普通科国際コミュニケーションコースでは、国際平和文化都市「ヒロシマ」から、自分の言葉で世界のあらゆる地域の人々に平和を訴えていくことのできる生徒を育てることを目標としている。語学に関わる授業は少人数で展開し、「発信型」の語学教育を実践している。2・3年生では「中国語」・「韓国・朝鮮語」・「フランス語」から一つの言語を選択履修することができる。また、海外からの留学生を招き、様々なワークショップ(研修講座)を通じ、グローバル時代に生き、考え、行動することをめざす国際交流宿泊研修を1年時に実施している。さらに、1年時にはカナダでのホームステイを中心とした語学研修を行い、2年時にはドイツやフランスへの海外修学旅行を実施している。普通科においても、2年希望者に対してカナダ語学研修を実施している。
- また、1・2年希望者に対して、韓国文化研修も実施している。

●行事

- 4月…遠足(全学年)
- 6月…舟入祭(文化祭)
- 7月…国際交流宿泊研修(国際コミュニケーションコース1年)・夏季補習(全学年)
- 8月…カナダ語学研修(普通科2年希望者)・韓国文化研修(1・2年希望者)
- 9月…オープンスクール・体育祭
- 10月…修学旅行(普通科2年)、海外修学旅行(国際コミュニケーションコース2年)
- 11月…入試説明会
- 12月…冬季補習・合唱祭
- 3月…球技大会・カナダ語学研修(国際コミュニケーションコース1年)

●アピールポイント

- 全館冷暖房完備。
- 舟入高校に来て良かったと思っている割合が90%を超えている(学校評価アンケート結果)。「行ける大学」ではなく「行きたい大学」への進路指導を重視している。生徒一人ひとりの希望進路を大切にしたい取り組みを今後も一層進めていく。
- 部活動加入率は85%。学習と部活動のバランスを取りつつ国立大学や難関大学への進学を目指している。
- 「質の高い授業」と「生徒の自主性」を大切にして、学習条件や環境を整えている。

クラブ活動

- 体育系 剣道/サッカー/水泳/卓球/ソフトテニス/バスケットボール/バレーボール/陸上競技/バドミントン/硬式テニス/硬式野球
- 文化系 ESS/演劇/音楽/軽音楽/茶道/写真/書道/新聞・文芸/吹奏楽/JRC/箏曲/電子工学/美術/放送/華道/漫画研究/バトントワリング

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。()内は、過年度生の内数。

	難関国立大	広島大	国公立合計	早慶上理	明青立法中	関関同立	私大合計	短大	専門学校	就職
2018年度	26名(9)	64名(6)	235名(36)	12名(3)	19名(6)	114名(30)	456名(81)	6名(4)	12名(1)	2名(0)
2019年度	36名(12)	57名(5)	229名(45)	7名(3)	13名(6)	127名(48)	623名(158)	5名(1)	5名(1)	2名(0)
2020年度	30名(4)	55名(4)	232名(26)	11名(3)	32名(8)	150名(39)	691名(113)	1名(1)	12名(0)	1名(0)